

令和4年度 政策推進部運営方針

部局名 : 政策推進部

部局長名 : 川口 貴子

基本方針（政策目標）

市制施行80周年を迎えた本年を、「再始動（Restart）・泉大津」の起点とし、庁内各部局と連携を図りながら、官民連携・市民共創の視点のもと80周年事業を実施するとともに、併せて、社会経済情勢の変化を見据え、諸課題の解決や人材育成につながる以下の主要事業に取り組み、コロナ禍を乗り越え、将来に希望が持てる元気な泉大津の実現に向けて進めてまいります。

- ① 未来に向けて、「つむぐ ひろがる #おづの未来」のキャッチフレーズのもと、官民連携・市民共創により、コロナ禍を乗り越え、泉大津市を前に進めていく80周年記念事業を展開するとともに、本市の魅力を市内外に広く発信します。
- ② 限られた人員や財源の中で最大の効果をあげられるよう業務の効率化への取り組みを推進します。また、市役所に来庁せずに手続きが出来るオンライン申請サービスを拡充し、時間・場所に制約のないサービスを提供することで市民の利便性向上を図るなどICTを活用したデジタル行政の推進を図ります。
- ③ デジタル技術の活用に不安を抱える高齢者に対し、デジタル社会の利便性を実感し、安心してご利用いただけるよう、令和3年度に引き続き、スマートフォン教室を拡充して実施します。
- ④ コロナ禍における原油価格・物価高騰等の影響を踏まえた経済対策を実施し、地域経済の活性化に取り組みます。また、法人化に係る費用の負担軽減や新規創業や第二創業への各種支援等、市内事業者の更なる躍進と本市内における創業、起業の促進を図ります。
- ⑤ 2025年の大阪・関西万博などを契機に港湾エリアの活性化につなげるため、低・未利用地を活用した『官民連携』による社会実験を実施するにあたり、民間事業者等への事業補助金の拡充を図り、事業化に向けた取り組みを推進します。

- ⑥ 市民公益活動団体が I C T を活用し、活動の P R や活動の幅を広げることができるよう、市民活動支援センター「おづぷらざ」において利用者のニーズに応じた様々な講座を開催するとともに、人材を発掘・育成し、地域への定着をめざします。
- ⑦ 自治会活動に I C T を取り入れることでコミュニケーションをよりスムーズにし、自治会活動の活性化を図るため、まずは自治会連合会において I C T を活用したネットワークの構築をめざし、調査研究に取り組みます。